




M-AUDIO®

BX5
— CARBON —

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒークップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://m-audio.jp/>

M-AUDIO® <お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

はじめに

BX5 Carbon スタジオ・モニタは、レコーディングやミックスといった音楽制作の現場で精度の高いサウンドとダイナミクスを提供します。コンパクトなボディに、5 インチのケブラーコーン・ウーファと 1 インチのナチュラル・ドーム・ツイータ、および低ノイズでパワフルな計 70W の Class A/B バイアンプを搭載し、フラットな周波数特性と明瞭なステレオイメージ、低ノイズかつハイパワーを誇る、現代の音楽をモニタするためのプロフェッショナル・パワード・モニタスピーカです。

同梱物

- ・ BX5 Carbon スタジオモニタ x 1
- ・ AC 電源ケーブル x 1
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://numark.co.jp/m-audio/support/>

また、BX5 Carbon の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

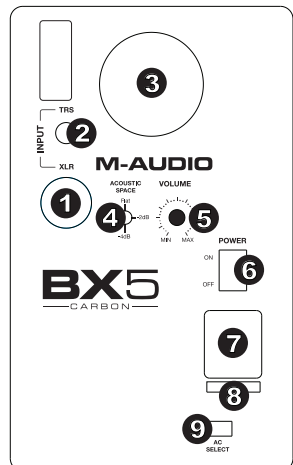
<http://numark.co.jp/m-audio/bx5carbon/>

各部の名称と機能

リアパネル

1. **XLR インプット**：バランスまたはアンバランスの信号を接続する XLR 入力端子です。XLR の極性は以下の通りです。
 - XLR ピン 1：グラウンド（シールド）
 - XLR ピン 2：+信号（ホット）
 - XLR ピン 3：-信号（コールド）
2. **TRS インプット**：バランスまたはアンバランスの信号を接続する 1/4" 標準フォン入力端子です。バランスで接続するには TRS 端子ケーブルが必要です。TRS の極性は以下の通りです。
 - TRS チップ：+信号（ホット）
 - TRS リング：-信号（コールド）
 - TRS スリーブ：グラウンド（シールド）

アンバランスで接続する際は、TS 端子ケーブルでも TRS 端子ケーブルでも構いません。TS ケーブルの場合は、自動的に-信号（コールド）がグラウンドされます。TRS 端子ケーブルでアンバランス接続する場合は、-信号（コールド）をグラウンドしておくことをお勧めします。また、TRS インプットに入力された信号は、XLR インプットからの入力信号とともに、バランス入力アンプへと送信され、両方の入力信号を同時に使用することができます。XLR、TRS 共に同じ入力の仕様が適用されます。



M-AUDIO

3. **サブウーファ・ベント・ポート**：このベントポートは 60Hz 以下の重低音の再生を促進します。
4. **アコースティック・スペース・スイッチ**：スピーカは、壁や天井、その他の大型で平面状の障害物から、できる限り遠ざけて設置する必要がありますが、現実的にそのような理想的な場所に設置できない場合、このスイッチを使って音響補正が可能です。

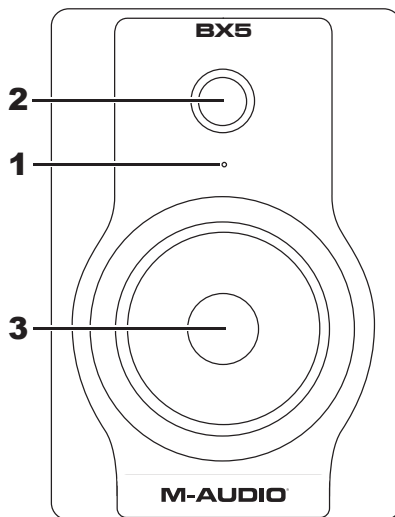
ヒント：壁からスピーカの背面までの距離を、最低 3 インチ（8cm 弱）は開けるようにして、背面のベントポートが適切に「呼吸」できるように設置してください。間隔が 3 インチ（8cm 弱）以上取れない場合、低音域の再生に影響が及ぶことがあります。

5. **ボリューム・コントロール**：ボリューム・コントロールで、適切な音圧レベルが得られるよう調整します。
6. **電源スイッチ**：電源のオン / オフを切り替えます。
7. **電源コンセント**：付属の AC ケーブルを接続します。
8. **フューズ・ホルダ**：外部メインヒューズを取り付けます。
9. **電圧選択スイッチ**：100-120V と 220-240V から選択できます。お使いになる場所の電圧に合わせてどちらかを選択します。通常、アメリカや日本では 100-120V、イギリスやヨーロッパでは 220-240V を使用します。

フロントパネル

フロントパネルに装備された電源 LED は、スピーカの電源がオンの状態で点灯し、電源が切れると LED は消灯します。

1. 電源 LED
2. HF ドライバ（ツイータ）
3. LF ドライバ（ウーファ）



設置

BX5 Carbon の性能を最大に引き出すために、以下をよくお読みの上、本機を設置してください。

注意点

- **取扱い：**スピーカのコーンには絶対に手で触れないでください。BX5 Carbon は、箱に隙間なく収納されていますので、取り出す際には充分にご注意ください。スピーカユニットの破損を防ぐため、本機の両側を持って箱から取り出してください。取り出した後も、コーンに触れることのないよう、充分にご注意ください。
- **電源接続：**BX5 Carbon はアンプを内蔵しているため、付属の AC 電源ケーブルを使用してコンセントに接続する必要があります。電源を接続する前に、前項の電圧選択スイッチの説明をお読みになり、スピーカのリアパネルにある電圧選択スイッチがお使いの電圧に設定されていることを確認してください。
注意：電圧選択スイッチを不適切に設定すると、危険な状態を引き起こしスピーカ部品が損傷することがありますが、これは本スピーカの保証の限りではありません。
- **接続：**BX5 Carbon の各ユニットの入力端子から XLR バランスケーブルまたは TRS バランス / アンバランスケーブルを使って、対応するプリアンプ、コンピュータ、ゲーム機器の出力端子に接続することができます。BX5 Carbon の入力端子に接続するケーブルは高品位のバランスまたはアンバランスケーブルをお使いください。また、接続の前には常に、BX5 Carbon のボリュームコントロールが最小になっていることを確認してください。

設置

BX5 Carbon の設置状況によって、再生性能に影響が及びます。以下の項目を参考に、BX5 Carbon のベストパフォーマンスを引き出してください。

ヒント：可能であれば、机の上などではなくスピーカスタンドの上に BX5 Carbon を設置することをお勧めします。机の上に設置しますと、共鳴が発生し低音域の再生に影響が出る可能性があります。スピーカスタンドが用意できない場合は、インシュレータなどを使うなど、机からの影響を受けないよう設置してください。

XLRバランス接続

BX5 Carbon の電源スイッチがオフでボリュームコントロールが最小になっていることを確認して、オスの XLR 端子を BX5 Carbon のバランス入力端子に接続します（前述の XLR バランス入力の説明を参照してください）。

TRSバランス/アンバランス接続

BX5 Carbon の電源スイッチがオフでボリュームコントロールが最小になっていることを確認して、オスの TRS 端子または TS アンバランスのケーブルを BX5 Carbon の TRS 入力端子に接続します（前述の TRS 入力の説明を参照してください）。

プリアンプまたはコンピュータの出力端子と接続

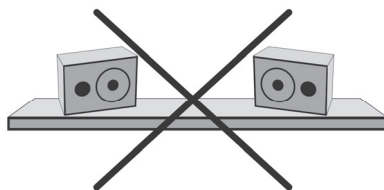
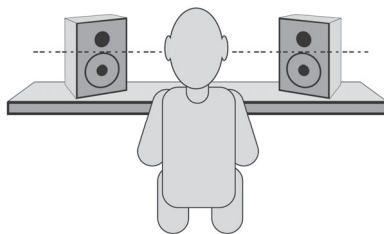
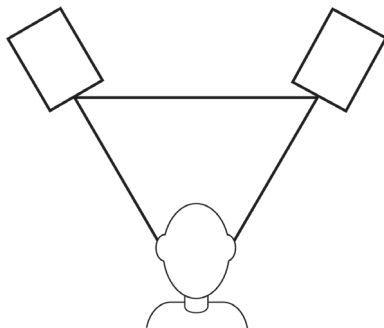
BX5 Carbon に接続する機器の電源を切り、ボリュームコントロールを最小にしてから、接続作業を行ってください。プリアンプ、コンピュータ、ゲーム機器等のオーディオ出力端子と BX5 Carbon を XLR バランス、TRS バランス、TS アンバランスなどのケーブルで接続します。

スピーカの設置

スピーカの配置は、サウンドを正確にモニタする上で最も大切なことのひとつです。BX5 Carbon の性能を最大限に発揮してモニタするには、適切なリスニングの環境にスピーカを適切に配置する必要があります。以下の説明をよくお読みの上、BX5 Carbon を正しい位置に配置してください。

1. 基本的に、2 台のスピーカとリスナーが逆三角形を描くように配置します。右の図を参照してください。
2. その下の図を参考にして、ユニットの高さ（正確にはウーファの最上部）がリスニングポイントで耳の位置になるように、高さを調節してください。
3. スピーカは立てて配置してください。横向きに配置することはお勧めできません。

注意：スピーカとスピーカの間、またはユニットの前に障害物を置かないでください。空気の流れ（音の媒体）を妨げます。ガラスや鏡、金属など、反射率の高い物が障害物となり反射音を生じることがありますので、モニタリング環境から取り除いてください。音の障害になる素材は BX5 Carbon の音の通り道から離しておいてください。



付録

仕様

形式：	2 ウェイニアフィールド・スタジオ・リファレンス・モニタ
LF ドライバ：	5 インチのケブラーコーン（耐熱型ボイスコイル、ダンパ・ラバーを装備、防磁型）
HF ドライバ：	1 インチ防磁型ナチュラル・シルクドーム
周波数特性：	56Hz～22kHz
クロスオーバー周波数：	3kHz
LF アンプ部電力：	40W
HF アンプ部電力：	30W
S/N 比：	最大出力以下で 100dB 以上（A-weighted）
入力端子：	XLR バランス入力端子 1 系統 TRS バランス / アンバランス入力端子 1 系統
極性：	+ 入力時、正の信号で LF ドライバを外側へ駆動
入力インピーダンス：	20kΩ バランス、10kΩ アンバランス
入力感度：	85mV ピンクノイズ入力で 90dBA 出力 SPL（ボリュームコントロール最大で 1 メートル）
保護：	RF 干渉、出力電流制限、加熱保護、電源オン / オフ過渡保護、サブソニックフィルタ、メインヒューズ
インジケータ：	電源オン / オフ・インジケータ（リアパネル）
電源条件：	115V ~50/60Hz、230V~50/60H または 100V~50/60Hz
キャビネット：	ビニールでラミネートされた MDF
サイズ（W x H x D）：	約 176 x 250 x 200mm
重量：	約 5.0 kg

※ 仕様は断りなく変更になる場合がございます。ご了承ください。

m-audio.jp